

環境、健康、および安全に関する方針

Smiths Group(以下、「会社」)は、環境、健康、および安全(EHS)に関する実践において申し分ない実績を達成すること、および怪我などの事故ゼロおよび環境における責任を果たす職場を構築することに取り組んでいます。

最高経営責任者は、会社における EHS に関する問題に対して全面的に責任を負い、会社の人事部長は効果的な管理および実践に責任を負います。戦略的指示および業績の監視は、Smiths 社の全部署からの代表者で構成される EHS ステアリング委員会と EHS 技術委員会が担当します。

各部署の最上級管理者は、それぞれの事業における EHS に関する問題、およびこの方針を必ず遵守するために組織的な調整を行うことに全面的な責任を負います。

会社の従業員は、職位にかかわらず、EHS ルールに十分注意し従うことにそれぞれ個人で責任を負います。さらに、潜在的に有害で危険な行為について他の従業員を警告する責任があります。これらの責任を果たすことは、従業員の義務の一つです。

会社は効果的な管理システムでサポートされている、次の主要な EHS 原則に準拠して事業を行います。

- 会社が遵守すべき関連する法的およびその他のすべての要件に適合すること、またはそれ以上に厳しく規範を遵守すること、および定期的な評価を行い遵守されているかどうかを監視すること。
- 公害、危険物の減少、および人の健康保護を含め、EHS の実践の改善を継続すること。
- 会社の全従業員または会社の全代表者が EHS 義務を履行できるように、強固な研修システムを構築すること。
- 明確に定義された目標と狙いを定期的に見直すこと。
- すべての新規および現行の事業、製品およびサービスに対する EHS の影響と相互関係を定期的に評価すること。
- エネルギーおよび天然資源の効率的利用を促進し、環境への影響を最小限に抑えること。
- 従業員の健康と幸せを促進すること。
- 買収および子会社の売却時は EHS について考慮すること。
- 会社の高い EHS 基準を遵守することを約束する有能な受託業者を選別すること。
- EHS の影響とその運用の目的について、会社の全従業員または全代表者およびその他の利害関係者と話し合うこと。

最高経営責任者
Philip Bowman
2009 年9月